

令和7年度 島田市立島田第二中学校グランドデザイン

【国教育振興基本計画】
「自立・協働・創造」

【静岡県教育振興基本計画】
「有徳の人」

【島田市教育方針】
「夢育・地育」

《校訓》文化の薫る学校の創造

《教育目標（ミッション）》 ころざしを持ち 自分の道を切り拓く生徒

《経営理念》生徒が自分で決められる学校

全ての教育活動で

- ・生徒に自己決定の場を与えること Q&Q「どうする?」「どうしたい?」
【成果指標】自分で判断して行動するように心がけている(95%)
- ・生徒に自己存在感を与えること 「今の自分がいることに価値がある」
【成果指標】自分には良いところがある、頑張ればできると思う(80%)
- ・共感的人間関係を育成すること 「仲間を尊重する」「私とあなたは違うことが前提」
【成果指標】相手の立場や気持ちになって考え、行動するようにしている(95%)

《二中ビジョン（学校経営目標）》 4つの戦略

戦略1

学習指導要領の理念を教育活動に
落とし込む

全ての活動を生徒が主体性を発揮できる場にする。そのために、極力指示を減らす。Q&Aではなく、Q&Qで対応し、「自分の考えを言語化する」ことを繰り返す。

戦略2

社会に開かれた教育課程に近づく

地域・保護者との結びつきを強くし、総合的な学習で課題解決型学習（Project Based Learning）を展開し、キャリア教育（①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力）を推進する。

《二中コアバリュー》

「主体性」を高める

「多様性」を認め合う

戦略4

教員の well-being（身体的、精神的、社会的に良好な状態）経営を推進する
～先生の Happy が生徒の笑顔をつくる～

教員がクリエイティブに深く思考する時間をつくることで、生徒の思考力や創造性が高まる教育活動にする。教育活動について、本当に必要か現状を疑ってみる。

戦略3

多様性に向き合う

セフティネット（安全網）を構築する

生徒に多様性に関する気付きを与えるとともに、集団の中でお互いを尊重し合う態度や行動を育む。

校外（チャレンジ教室・しまだっ子等）とも連携をとり、サード・プレイス（家庭でも学校でもない第3の居心地の良い場所）を構築する。ICT活用環境も整備する。

保護者や地域との連携・協働

- ・保護者の主体的なPTA活動への参加
- ・地域学校協働本部事業によるコミュニティ・スクールの推進（しゃべり場、読み聞かせ、プロジェクト学習）
- ・小中連携による9年間を見通した、一貫性をもった教育の推進